



僕の未来の想像図！

西田 圭伸さん「第9回言の葉大賞」優秀賞

一般社団法人言の葉協会が主催する「第9回言の葉大賞」が開催され、「自分の未来を描くこと」をテーマに、応募作品18,558通の作品の中から、3月に熊石中学校を卒業した西田圭伸さんが優秀賞に選ばれました。「言の葉大賞」は、800字の作文を通じて「読む」「書く」「聴く」「伝える」を学ぶことで、思考力や表現力を養い、コミュニケーション能力を高めることを目指して毎年行われています。応募のきっかけは担任の先生の勧めで、自分の病気のことや今までの経験のほか、自分の素直な思いを先生と相談し、何度も文章を練り直しながら800字に想いを込めて書き上げました。受賞の知らせを聞いた西田さんは「本当に驚いた。今まで学校やクラスメイトなどの周りのサポートがあったからやってこれたし、本当に恵まれている」と喜びをかみしめていました。

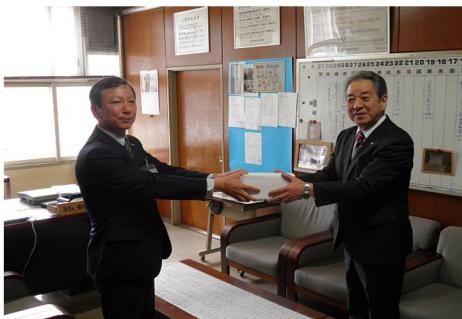


安全な登下校を見守る！

八雲町内小学校へ 防犯ブザー贈呈

3月27日、八雲町公民館でこの春入学する全ての小学校の新入学児童(125名)の登下校等の安全を願い、八雲町防犯協会会长から八雲町教育委員会長へ防犯ブザーの贈呈が行われました。

町内では、子どもの登下校の安全を守る取り組みとして、同協会からの防犯ブザーの寄贈のほか、防犯ボランティアである防犯パトロール浜茄子隊、立岩防犯パトロール隊、熊石防犯クラブ、各地域有志による子どもの見守り活動が行われています。



初めてでも見やすく、使いやすいホームページが完成！

八雲町ホームページが リニューアルしました

4月1日、八雲町のホームページがリニューアルしました。

これまで運用していたホームページについては、平成21年度に新規構築し、平成25年度に主にデザイン面でのリニューアルを行いました。

今回のホームページのリニューアルに伴い、パソコンからの閲覧よりもスマートフォン・タブレット端末からも見やすいデザインとなりました。

今までより使いやすくなった八雲町のホームページをぜひチェックしてみてください。



辨開凧次郎研究会が製作！

御所の松の標柱建立しました

落部八幡宮の境内に所在する「拝領御所の松」の標柱が老朽化したため、新たな標柱を辨開凧次郎研究会(櫛柄啓治事務局長)が製作し、建立されました。

御所の松は、明治33年に東宮殿下(後の大正天皇)のご婚礼に際して、落部アイヌの辨開凧次郎らが子熊2頭を献上し、松の盆栽などの下賜を受けたもので、「御所の松」と命名されました。辨開の自宅に植えられていた松は、後に落部八幡宮境内に移植され、昭和45年3月19日に八雲町指定文化財(天然記念物)に、昭和47年3月25日に北海道の記念保護樹に指定されました。

